

# 令和2年度

令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日

## 事業報告書

学校法人 野上学園

## 1. 法人の概要

### (1)建学の精神

本学園の建学の精神は「如何なる時も凡事徹底」です。この精神は学園が設置する全ての教育機関に受け継がれ、学生教育の柱となっています。

また本学は「動物」を学ぶことを目的とした教育機関を設置していることもあり、「動物から生きる知恵を学ぶ」ことを使命とし、「喜びを与える人であれ」を教育理念として、ヒトと動物が共に暮らせる社会を目指した人材育成を行なっています。

### (2)沿革

法人設立年月日      平成 19 年 9 月 25 日

法人本部所在地      徳島県徳島市佐古一番町 5 番 4 号

学校設置年月日

- ・ブレイメン愛犬クリエイティブ専門学校設置      平成 20 年 4 月 1 日
- ・神戸ブレイメン動物専門学校設置      平成 24 年 4 月 1 日
- ・東京ブレイメン動物専門学校設置      平成 29 年 4 月 1 日
- ・ブレイメン愛犬クリエイティブ専門学校      学校名変更  
ブレイメン動物専門学校      平成 31 年 4 月 1 日
- ・大阪ブレイメン動物専門学校設置      令和 3 年 4 月 1 日

### (3)設置学校

- ・ブレイメン動物専門学校      ペットビジネス学科／ペットマイスター学科

所在地：徳島県徳島市

- ・神戸ブレイメン動物専門学校      ペットビジネス学科

所在地：兵庫県神戸市

・東京ブレイメン動物専門学校 ペットビジネス学科

所在地：東京都北区

・大阪ブレイメン動物専門学校 ペットビジネス学科

所在地：大阪府大阪市

(4)学生数

令和3年5月1日現在

ブレイメン動物専門学校

学 科	入学 定員	収容 定員	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
ペットビジネス学科	35	70	50	35			85
ペットマイスター学科	5	20	1	1	6	6	14

神戸ブレイメン動物専門学校

学 科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	合計
ペットビジネス学科	40	80	54	52	106

東京ブレイメン動物専門学校

学 科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	合計
ペットビジネス学科	40	80	52	33	85

大阪ブレイメン動物専門学校

学 科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	合計
ペットビジネス学科	40	80	42	—	42

(5)教職員数

令和3年5月1日現在

ブレイメン動物専門学校

教員数（本務）	教員数（兼務）	教員合計	職員数（本務）	職員合計
6	4	10	1	1

神戸ブレイメン動物専門学校

教員数（本務）	教員数（兼務）	教員合計	職員数（本務）	職員合計
5	12	17	2	2

東京ブレイメン動物専門学校

教員数（本務）	教員数（兼務）	教員合計	職員数（本務）	職員合計
6	3	9	1	1

大阪ブレイメン動物専門学校

教員数（本務）	教員数（兼務）	教員合計	職員数（本務）	職員合計
5	2	7	1	1

(6)役員・評議員概要

令和3年5月1日現在

[定数] 理事5 監事2 評議員11

職名	氏名	任期	備考
理事長	野上 耕一	令和元年9月～令和3年9月	
理事	野上 和子	令和元年9月～令和3年9月	
理事	和田 信彦	令和元年9月～令和3年9月	外部理事
理事	内藤 榮	令和元年9月～令和3年9月	外部理事
理事	豊實 祐之	令和元年9月～令和3年9月	
監事	高橋 諭	令和元年9月～令和3年9月	
監事	園田 貴彦	令和元年9月～令和3年9月	

職名	氏名	任期
評議員	野上 耕一	令和元年10月～令和3年10月
評議員	野上 和子	令和元年10月～令和3年10月
評議員	和田 信彦	令和元年10月～令和3年10月

評 議 員	内藤 榮	令和元年 10 月～令和 3 年 10 月
評 議 員	豊實 祐之	令和元年 10 月～令和 3 年 10 月
評 議 員	鈴木 泰宣	令和元年 10 月～令和 3 年 10 月
評 議 員	矢野 章太	令和元年 10 月～令和 3 年 10 月
評 議 員	松村 直子	令和元年 10 月～令和 3 年 10 月
評 議 員	呉 靖子	令和元年 10 月～令和 3 年 10 月
評 議 員	小松 敏之	令和元年 10 月～令和 3 年 10 月
評 議 員	平木 彰子	令和元年 10 月～令和 3 年 10 月

## 2. 事業の概要

### ① 事業概要

学校法人野上学園は専修学校（専門課程）3校を有する。（\*令和3年度に大阪ブレーメン動物専門学校が新たに開校し4校となる）。教育内容・設備の充実、学生募集の改善をはかり、グループ校全体での連携を向上させ、学生教育活動をより充実させることを目的とする。

#### (1) 学生募集活動

今年度の学生募集は、法人全体として前年比109%を達成した。要因としてブレーメン動物専門学校、神戸ブレーメン動物専門学校の募集状況が安定していることに加え、東京ブレーメン動物専門学校が開校4年目となり、認知度の向上により募集数の伸びが顕著であったことがあげられる。令和3年度には大阪ブレーメン動物専門学校が開校することもあり、今後も連携授業や地域活動を組み入れるなどの様々な取り組みを行い、地域の業界との連携を密に図り、幅広いターゲットを明確にした対応を短期・中期・長期的な視野から広報サイクルの展開を図っていくことが重要となる。

## (2)教育活動

教育理念である喜びを与える人であれを実践し、学生一人一人を大切にすることで、学びである動物と人間のよりよい共生社会を目指すことを継続する。

学生が就職後、即戦力となることを主旨とし、動物が本来もっている性質や機能を深く理解することで、日々変化し続ける社会に対して柔軟な対応ができる人材を育成する。

動物を観察し、観察力をつけることで人間社会に必要な「コミュニケーション能力」の向上を図り、マナーや道徳心をもった社会人として貢献できる人材を育成することを目指す。

また学生に対して、各種スキル・知識の取得対策を充実させるとともに、心身のケア支援、生活習慣に関する指導を改善し、学生生活全体の支援体制を整える取り組みを行う

### i 授業計画書作成方針

カリキュラムの基本編成を基に各教科担当教員が年間の授業予定を定め、各科目の記載項目についての詳細な編成を進める。

授業の目的、到達目標、授業内容・方法、年間スケジュール、成績評価方法・基準等を設定し、学生が各授業科目の学習準備を進めるための基本となるものとする。また、選択科目においては、授業選択の参考となる資料になるものとし、自己評価や学生による授業評価等にも利用できるものとする。

年度毎に内容の見直しは行われ、新たな学術研究の結果を取り入れ、学習内容の質向上を図る。

### ii 成績評価の方針

授業科目の成績評価は、上位より優（100～90点）、良（89～80点）、可（79点～60点）、不可（59点以下）の4段階をもって表示し、不可を不合格、その他を合格とする。

前項の規定にかかわらず、授業科目によっては、教育的効果等を考慮し、成績評価を P (Pass、合格)、N (Non-pass、不合格) で表示することが出来るものとする。

成績評価による学業結果のうち、評定平均値を用いて学業成績を総合的に判断する指標とする。

### iii 卒業認定の方針

本学の理念である「喜びを与える人であれ」の精神を理解し、「如何なる時も凡事徹底」が、生涯にわたる基盤となるよう身に付いている。

主体的、自主的、能動的な姿勢が身に付き一定の思考力、判断力、表現力を獲得している。

動物分野の基礎学問を身につけ、動物から生きる知恵を学ぶことが出来る。

卒業要件として、決められた授業時間単位以上を受講し、授業科目の成績評価に基づき、学校長が課程修了の認定を行う。

## (4)組織体制

今後の私学経営を取り巻く厳しい環境に対応していくため、次世代の管理者を育成し教育と経営の両面でバランスの取れた人材を適材適所に配置していくことが急務であり、教職員研修や指導体制を整えて組織力を強化していく。

## ②事業計画及び進捗状況

### (1)教育研究の取り組み

実践型教育をこれまで以上に充実させるために、企業との連携をより推進している。動物産業だけでなく、他分野の産業界との連携を活発に行い、特定の業種だけに特化した教育だけではなく、時代に対応できる社会人を育成することを重視する。

また、動物看護師の国家資格化に対応した学科編成、施設の対応計画を進める。

東京ブレイメン動物専門学校の開校により、学園全体としてより幅広い地域での教育活動が行える地盤が出来つつあり、様々な地域企業との連携が可能となった。

また、国内だけでなく、海外の教育施設、企業との交流を進めてきたが、これまでのアジア圏だけでなく、提携しているアメリカ・カリフォルニア州のモアパークカレッジとの定期交流を通じて、より国際的な観点での教育活動が増加している。

\*令和2年度は世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、オンラインで海外との交流を図り、成果を出している。

## (2)教職員の質向上

教職員は近年の多様化した社会、動物産業の多彩なペットビジネスサービスのニーズに対応する為に必要な知識・技術を習得することが必要となる。国内外を問わず、連携企業・学校への研修・セミナーを定期的で開催し、教職員の資質・能力の向上と意識改革を進める。

専門分野における実務に関する研修として、海外提携大学モアパークカレッジでの飼育学研修、動物愛護及び管理に関する法律に関連した研修会、日本臨床獣医師会フォーラムでの動物看護等研修プログラム等、指導力向上の為に研修として、フリーアナウンサーを講師に招き、定期的な話し方のセミナーを開催、専修学校各種学校連合会主催の教職員セミナー等が例年実施されていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により一部オンラインでの実施のみとなっている。

## (3)大阪校認可

4校目のグループ校となる。大阪ブレーメン動物専門学校（大阪市福島区）が令和2年8月に大阪府教育庁より設置認可を受け、令和3年4月1日に開校する。

## (4)施設関係

愛玩動物看護師の国家資格が決定し、指定養成校の要件として3年制学科の設置が必要となることから、各設置校にて新校舎及び既存校舎の増改築についての計画を進めていく。



### ③施設等の状況

設置学校の校舎所在地

- ・ブレーメン愛犬クリエイティブ専門学校

1号館 徳島県徳島市佐古一番町5番4号

2号館 徳島県徳島市佐古一番町19番1号

- ・神戸ブレーメン動物専門学校

兵庫県神戸市中央区布引町2丁目1番17号

- ・東京ブレーメン動物専門学校

東京都北区滝野川7丁目39番14号

- ・大阪ブレーメン動物専門学校 \*令和3年4月開校

大阪府大阪市福島区大開2丁目19番19号

## 3. 財務の概要

### (1) 2020年度決算概要

#### ① 貸借対照表の状況

2020年度決算においては、総資産額は前年度より213百万円増加、総負債額は92百万円増加した。負債が増加しているのは、入学者増に際して前受金関係が増加したものに寄与する。

#### ② 収支計算書の状況

2020年度決算においては、経常収支差額が約23百万円増加した。東京ブレーメン動物専門学校が開校4年目を迎えて学生数が増加し、学生生徒納付金収入が伸びたことや、同時にグループ校全体として補助活動収入も伸びたことが要因となる。

(2)経年比較

①貸借対照表

(単位：千円)

科 目	30 年度	2019 年度	2020 年度
固定資産	591,870	821,496	866,555
流動資産	259,854	149,213	317,827
資産の部合計	851,724	970,709	1,184,381
固定負債	114,845	106,547	98,249
流動負債	175,615	188,703	288,910
負債の部合計	290,460	295,249	387,159
基本金	516,327	767,072	839,137
繰越収支差額	44,936	91,614	41,914
純資産の部合計	561,264	675,459	797,222
負債及び純資産の部合計	851,724	970,709	1,184,381

②収支計算書

i 資金収支計算書 (単位：千円)

科 目	30 年度	2019 年度	2020 年度
学生生徒納付金収入	158,635	194,315	216,650
手数料収入	262	356	468
寄付金収入	4,000	0	0
補助金収入	2,243	2,262	16,134
資産売却収入	0	0	0
付帯事業・収益事業収入	61,211	78,824	83,952

受取利息・配当金収入	5	5	5
雑収入	487	682	1,825
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	164,875	178,242	278,038
その他の収入	17,459	19,502	24,281
資金収入調整勘定	△133,922	△167,030	△180,767
前年度繰越支払資金	248,747	258,953	147,057
収入の部合計	524,004	566,112	587,643

科 目	30 年度	2019 年度	2020 年度
人件費支出	91,387	103,912	117,042
教育研究経費支出	11,934	14,569	29,116
管理経費支出	33,555	31,120	31,787
借入金等利息支出	563	491	344
借入金等返済支出	7,956	8,619	7,956
施設関係支出	97,382	239,752	59,365
設備関係支出	9,553	2,032	4,674
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	18,302	19,330	23,245
資金支出調整勘定	5,576	773	△1,187
翌年度繰越支払資金	258,952	147,058	315,302
支出の部合計	524,004	566,112	587,643

ii 事業活動収支計算書（単位：千円）

科 目	30 年度	2019 年度	2020 年度
学生生徒等納付金	158,635	194,315	216,650
手数料	262	356	468
寄付金	0	0	0
経常費等補助金	2,243	2,243	15,634
付随事業収入	61,221	78,824	83,952
雑収入	487	682	1,825
教育活動収入計	222,839	276,440	318,528
人件費	91,378	103,912	117,042
教育研究経費	22,212	24,941	39,612
管理経費	34,894	32,906	40,041
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	148,485	161,7605	196,696
教育活動収支差額	74,353	114,680	121,833
受取利息	5	5	5
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	5	5	5
借入金等利息	563	490	344
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	563	490	344
教育活動外収支差額	△558	△486	△339
経常収支差額	73,795	114,195	121,493
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	4,000	0	500

特別収入計	4,000	0	500
資産処分差額	0	0	229
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	0	0	229
特別収支差額	4,000	0	271
[予備費]	0	0	0
基本金組入前当年度収支差額	77,795	114,195	121,764
基本金組入額合計	△109,981	△250,744	△72,064
当年度収支差額	△32,186	△136,550	49,699
前年度繰越収支差額	77,123	44,936	△91,614
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	44,936	△91,614	△41,914